



小学校に入学して、初めて習う歌。友達や学校生活と分かちがたく結び付いて思い出される歌。それが小学校の校歌です。

「私は、どの学校に勤務しても、その学校の校歌を歌うことは、いつも大切にしているんです。」

本校の、ある教員が言いました。大切に歌われるからこそ、その時々光景が歌と分かちがたく結び付いていくのでしょうか。

光景を焼き付けたら、校歌は消えない

11月22日(金)、西日本放送「さわやかラジオ・ラ・フレッシュ」の「校歌斉唱 ～想い出の学び舎」というコーナーで、本校の校歌が流れました。聴くことができなかつた方も多いと思いますので、放送内容の一部を抜粋して紹介します。

岸さん：今回は、本山小学校、5年生・6年生に集まってもらい、歌ってもらったんですが、なんとこのコーナー初。鉄琴と木琴の演奏もしてもらっています。

宮宇地さん：うわっ、豪華。

岸さん：それでは、本山小学校のみんな、よろしくお願いします。

～ 演奏 ～

宮宇地さん：歌声もいいですけど、鉄琴・木琴、あれが、本当、すごく、なんとも愛らしいというか、いいですね。

岸さん：いいでしょ。これね。ものすごい迫力で、声も出してくれたし、演奏も歌声も素晴らしかったです。今回の収録に当たって、伴奏を今風に変えて、今月に入ってから練習をしてくださったということですけども、とってもいい演奏・歌声でしたよね。みんな、ありがとう。いい声、出ましたよ。

(RNCパーソナリティー・岸たけしさん、宮宇地美穂さんによる放送)

RNCラジオに校歌が流れます！



今日、西日本放送のパーソナリティー・岸たけしさんが、本校の校歌収録のために来校しました。
この日の演奏に際して、6年生の有志で新たに楽器パートを加えました。練習期間は1週間余り、それでも、毎日昼休みに音楽室で練習を重ね、見事に完成させました。
あまりにも自信にあふれ、「楽器パートの音が大きすぎるかな？」と少し心配していたのですが、その心配も無用でした。5、6年生の歌声が、楽器の音に負けないくらい響きわたりました。
この楽器と歌のパートに、岸さんも、「こんな校歌は初めてです。録音のレベルを下げてでも音割れをするかと思いました。すごい！」と絶賛してくれました。

収録した校歌は、学校紹介とあわせて放送されます。また、radio(ラジオ)でスマホ・PCで聴くことも可能です。もしお時間があれば、ぜひお聴きください。

■番組名：西日本放送「さわやかラジオ・ラ・フレッシュ」
(AM1449、FM90.3)
■コーナータイトル：「校歌斉唱 ～想い出の学び舎」

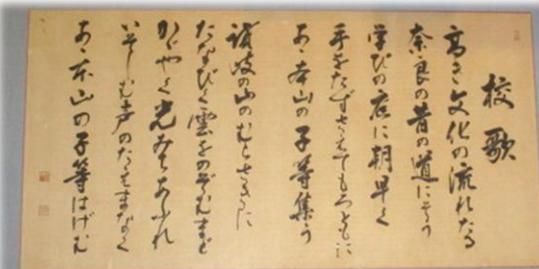
【11/15 校歌収録時のブログ】

歌に合わせて楽器の音量を抑えるのではなく、「もっと声を出しなさい。」と発破をかけられるのでもなく、それぞれが「私が主役」とばかりに主張し、それが渦を巻いて音楽室に充満する。そんな校歌でした。

岸さん：「将来、子どもたちにどんな人になってほしいですか」という問いに校長先生は、「自分たちで学校を良くしていこうという意識の高い本山の子。同級生にも地域を引っ張っていてくれる人たちがいる。これまでの伝統や歴史を大切にしつつ新しく道を切り拓く、そんな人になってほしいですね。」とのことでした。

『青い鳥』のチルチルとミチルも、『オズの魔法使い』のドロシーも、最後に、幸せは自分のうちにあることに気がきます。子どもたちには、たとえ世界を股にかけて活躍する大人になったとしても、ふるさとにある幸せを忘れない人になってほしいと願っています。

岸さん：学校周辺の風景は時代とともに移り変わっていますが、それでも校舎からは、本山寺の五重塔を望むことができます。「田園風景の中にそびえる五重塔は、のびのびと元気に育つ、そんな本山の子を象徴しているかのようです。」と話をされたのが、とても印象的でした。



田園風景を裾野にしたがえた五重塔を、この窓から眺められるのも、あと1年半です。私も「小学校に入学して初めて習った歌」は、あと1年半でその使命を終えます。

しかし、ピアノを弾きながら聴いたこの歌と楽器の音色。左斜め前から見ていた子どもたちの姿。私の聴いた、私の席からしか見えなかつたこの日の光景を焼き付けておきたいと思います。